

リーディングプロジェクトの進捗状況について

1. 基本目標 I（脱炭素化）

「としま低炭素モデル地区基準」の設定による低炭素まちづくりの推進

(1) 概要

新たに低炭素モデル地区基準を設定し、区内事業者に対して推進していく。この取り組みにより、地域全体のエネルギー利用の最適化を目指し、低炭素まちづくりを推進していく。

◆としま低炭素モデル地区基準

下記、I を満たし、II を 2 つ以上満たすもの

基準	要件
I 環境性能	非住宅:東京都建築物環境計画書制度 段階3 ※ 住宅:住宅性能表示制度 断熱等性能等級 等級 4 ※
II エネルギーの面的利用	・地域冷暖房 ・コージェネレーションシステム ・再生可能エネルギー

※「東京都建築物環境計画書制度」:段階 3 は、環境への配慮のための措置として環境への負荷の低減に著しく高い効果を有するもの。

「断熱性能等級」:等級 4 は、熱量損失等の大きな削減のための対策が講じられているもの。

(2) 関連する指標

取組指標	現状値 (H29 年度)	目標値 (R12 年度)	目安値 (R2 年度)	実績 (R2 年度)	目安値の 進捗状況
としま低炭素モデル地区 基準を満たす地区 (累計)	1	4	2	2	○

(3) 実績と評価

2023 年 9 月に、サンシャインシティの東側に隣接して開校予定である東京国際大学池袋国際キャンパスの地域冷暖房熱供給加入に伴い、地域冷暖房の供給導管の新設にかかわる都市計画変更を、令和元年度に行った。



地域冷暖房供給導管予定区域図

2. 基本目標II（自然共生）

みどりやビオトープの維持管理

（1）概要

区有施設に整備したビオトープや「グリーンとしま」再生プロジェクトにより創出したみどりについて、専門家の調査をふまえて今後の維持管理の改善に努めていく。また、区民や地域団体との協働による維持管理体制の構築を検討していく。これらの取り組みにより、質の高いみどり空間を維持し、人と自然の共生を進めていく。

（2）関連する指標

取組指標	現状値 (H29 年度)	目標値 (R12 年度)	目安値 (R2 年度)	実績 (R2 年度)	目安値の 進捗状況
学校・区立公園の ビオトープ数（累計）	19 か所	21 か所	19 か所	19 か所	○
地域が管理する公園・ ビオトープの数	3 か所	3 か所	3 か所	3 か所	○

（3）実績と評価

①維持管理の改善について

令和2年度は、南長崎はらっぱ公園と南池袋小学校、仰高小学校、西巣鴨小学校のビオトープについて専門家の調査を行い、今後の維持管理に関するアドバイスを行った。

「グリーンとしま」再生プロジェクトにより創出したみどりについては、平成29年度に専門家による調査、令和元年度には職員による実態調査を行った。植樹場所の環境や周囲の状況によって、生育状況や管理方法に違いがあり、人材も含めた管理の難しさが今後の課題となっている。「グリーンとしま」再生プロジェクト実行委員会においても検討課題としており、引き続き、将来の維持管理について検討を行っていく。

②連携による緑などの保全について

令和2年度は、池袋本町電車の見える公園と南長崎はらっぱ公園で過去に植樹された「いのちの森」の手入れ活動は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。また、南長崎はらっぱ公園では、地域住民等と連携し、ビオトープの維持管理も継続して行っている。平成29年度から行っているアメリカザリガニの駆除により、令和2年度には、初めてコシアキトンボの羽化殻を確認するなど、駆除の効果が徐々に現れてきている。

今後も区民や地域との連携による維持管理を進めていく。



南長崎はらっぱ公園での育樹活動の様子

3. 基本目標Ⅲ（資源循環）

食品ロス削減対策事業

（1）概要

食品ロス削減に向けた普及啓発に加え、民間事業者との連携により地域全体での食品ロス削減対策を促進していく。

（2）関連する指標

取組指標	現状値 (H29年度)	目標値 (R12年度)	目安値 (R2年度)	実績 (R2年度)	目安値の 進捗状況
食品ロスに関する啓発講座 の実施回数	2回/年	4回/年	2回/年	—※	—

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施せず

（3）実績と評価

①民間事業者との連携について

豊島区ではフードシェアリングサービス「TABETE」を運営する株式会社コークッキングと「豊島区における食品ロス削減に向けた連携協定」を令和3年3月29日に締結し、区内事業者に対し普及啓発活動を行い登録店舗を増やした。啓発活動の一環として、区広報、SNS、ホームページ、ケーブルテレビ等の媒体を活用し区民にもアプリケーションサービスの周知を行い、連携協定締結以前に比べてレスキュー数（購入数）が倍増した。（10月末時点）

民間企業においても食品ロスの意識が高まっており、今年の活動として池袋マルイや西武池袋本店にてフードドライブを開催。池袋マルイでは計6日実施 955点 233.71kg、西武池袋本店では計5日実施 601点 125.34kgの食品を受付した。集まった食品はTOSHIMA TABLE主催のフードサポートプロジェクト、NPO法人ワーカーズコープ主催のフードパントリー、豊島区社会福祉協議会へ提供した。また、豊島区食べきり協力店では、西武池袋本店のレストラン街「ダイニングパーク池袋」26店舗を登録。商業施設のレストラン街が登録されるのは区内発。

②区内循環型フードドライブについて

フードドライブの常設窓口を4か所に設置し令和2年度は、2,910個、603.69kgの食品を集めた。食品ロス削減の取組は区民に着実に広がっており、フードドライブ事業開始時は164個を受付したが、令和3年10月末において、食品の提供数は4,828個、約1,100kgが集まった。今後も区民ニーズに沿った方法でフードドライブを実施し様々な方法で活動の場を検討する。



集まった食品の一部

4. 基本目標Ⅳ（快適環境）

路上喫煙・ポイ捨て防止対策の充実

（１）概要

区では平成 23 年 5 月に区内全域「路上喫煙・ポイ捨て禁止」を基本とした『路上喫煙及びポイ捨て防止に関する条例』を定め、安全で快適な街づくりを進めている。

東アジア文化都市や東京オリンピック・パラリンピックの開催、外国人在住・在勤者、来街者の増加を見据え、多言語音声翻訳機を活用した路上喫煙・ポイ捨て防止パトロール、啓発路上シールや看板の多言語化を推進する。

（２）関連する指標

取組指標	現状値 (H29 年度)	目標値 (R12 年度)	目安値 (R2 年度)	実績 (R2 年度)	目安値の 進捗状況
路上喫煙・ポイ捨て防止 キャンペーンの開催回数	12 回/ 年	18 回/ 年	13 回/ 年	4 回/ 年	△
路上喫煙・ポイ捨て防止 パトロールの時間数	8,432 時間 / 年	10,000 時間 / 年	8,794 時間 / 年	8,815 時間/ 年	○
路上喫煙・ポイ捨て禁止 啓発路上シールの貼付数	115 枚 / 年	200 枚 / 年	135 枚 / 年	144 枚/ 年	○

（３）実績と評価

日本語・英語・中国語・ハングルの 4 か国語を表記した路上喫煙・ポイ捨て禁止啓発路上シール及びポスターを作成し、「路上喫煙・ポイ捨て禁止」の周知・啓発を行っている。路上シールについては、滑り止め仕様の素材のものに切り替えを進めている。

また、路上喫煙・ポイ捨て防止パトロールでは、50 ヶ国以上対応の多言語音声翻訳機を活用し、注意・指導を実施している。



路上喫煙防止の路上シール

5. 連携・協働

(仮称) クリーンサポーター・リーダー制度

(1) 概要

現在、区内の企業・団体が「としまクリーンサポーター」として登録し、自主的な環境美化活動を実践していただいているが、クリーンサポーター同士や、地域の清掃活動に参加する地域住民間での交流や連携などに至っておらず、活動の主体や活動の幅が限定的であるという課題がある。

そのため、クリーンサポーター制度を発展させた「(仮称)クリーンサポーター・リーダー制度」を新たに創設し、リーダー育成の機会を提供していく。この制度の創設と運用により、区内の異なる主体間の連携による環境活動を活性化し、環境づくりのための行動の輪を広げていく。

(2) 関連する指標

取組指標	現状値 (H29 年度)	目標値 (R12 年度)	目安値 (R2 年度)	実績 (R2 年度)	目安値の 進捗状況
企業等の自主的な環境活動 (としまクリーンサポーター 登録団体数)	133 団体	150 団体	137 団体	159 団体	◎

(3) 実績と評価

近年「としまクリーンサポーター」の新規登録数は2~6件で推移していたが、令和2年度は新規登録が16件であった。自主的な環境美化活動に意欲のある企業・団体が増加傾向にあることがうかがわれる。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、活動を休止している企業・団体も多いことから、活動状況等の実態調査を行い、調査結果をもとに、ニーズに合ったリーダー育成の方法を検討していく。

また、持続可能な環境美化活動を推進するため、クリーンサポーターをはじめとした地域の自主的な環境美化活動に対し、参加者同士の交流や連携を進める仕組みを検討し、活動の主体や幅を広げる実証実験を進めている。



としまクリーンサポーター活動の様子